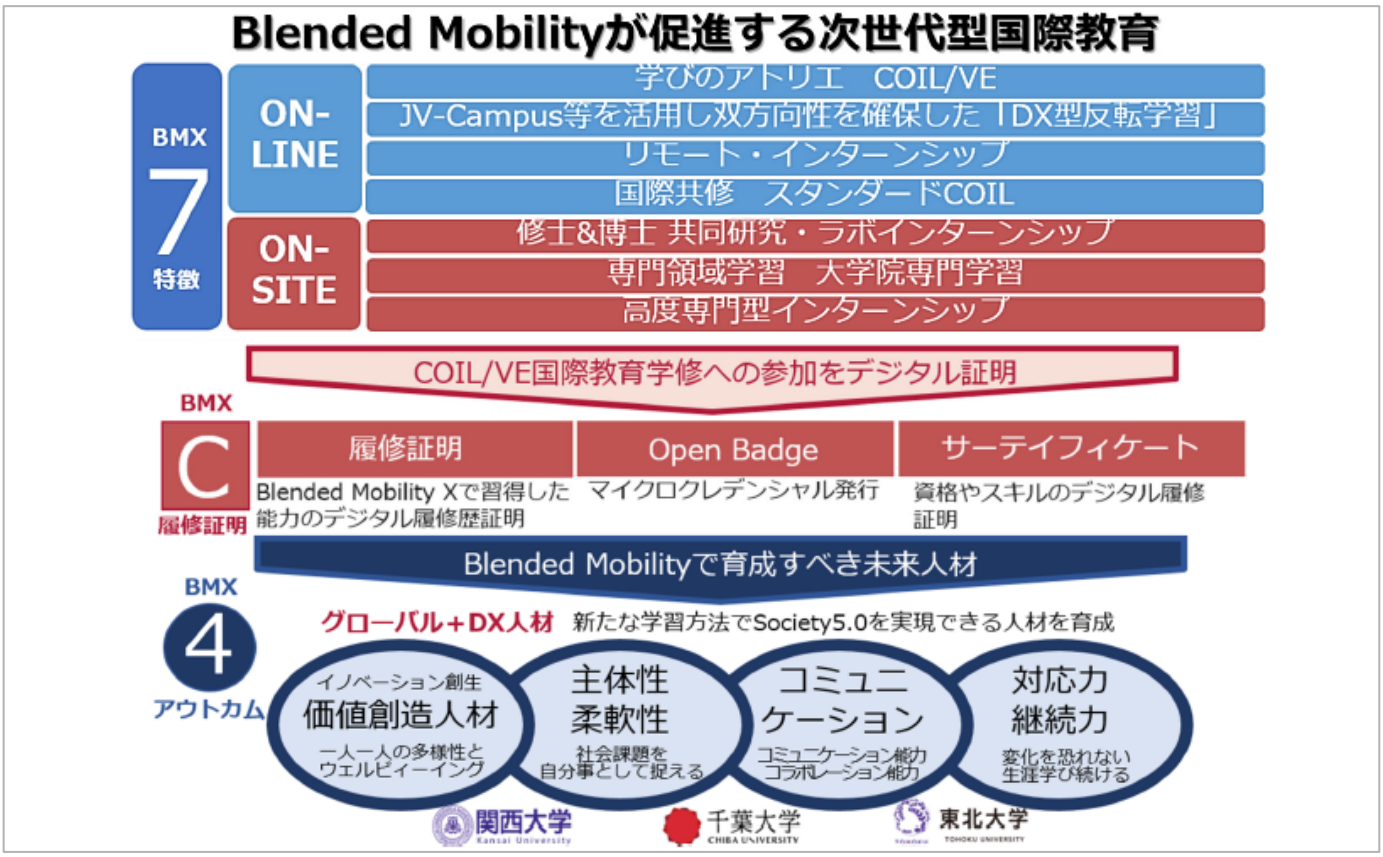
【事業の名称】（選定年度2023年度）
Blended Mobility Project（BMX）で生み出す「Society5.0人材」の育成とそのインフラの創出
【交流推進事業の概要】



【交流プログラムの概要】
本事業の交流プログラムのテーマはBlended Mobility（デジタル化・オンライン化した教育を、渡航留学活動と有機的に融合した学修）Project（BMX）で生み出す「Society5.0人材」の育成である（プラットフォーム拠点形成としては、そのインフラの創出も含まれる）。この国際教育分野のパラダイム転換を視野にいれた事業を[BMX(Blended Mobility Projects]と称し、関西大学・千葉大学・東北大学の3大学で取組む。

【本事業で養成する人材像】
本事業では、連携する3大学共通で、**「Society 5.0人材（日本人も留学生も該当）としての適性」**の涵養を推進することで合意している。次世代社会Society 5.0は、デジタル技術の革新とさらなる波及・浸透により、その活用が多領域において実践的に展開し、すべての人のウェル・ビーイングを下支えする社会となる。この社会をリードする人材層を輩出することが、高等教育機関の大きな役割であり、本事業で展開する新しい国際教育で学修する者が、以上のような適性を持つ人材として成長するよう教育設計を行う。

【本事業の特徴】
BMの利点を最大限活用し、より幅広く多様な学生層に国際教育経験を提供することで、養成したい人材（アウトカム）の育成を手掛ける。3大学が連携して実施する事業はJapan Hub for Innovative Global Educationと称し、BM等の次世代の国際教育をになう拠点の基礎となるような事業を推進する。

【交流予定人数】

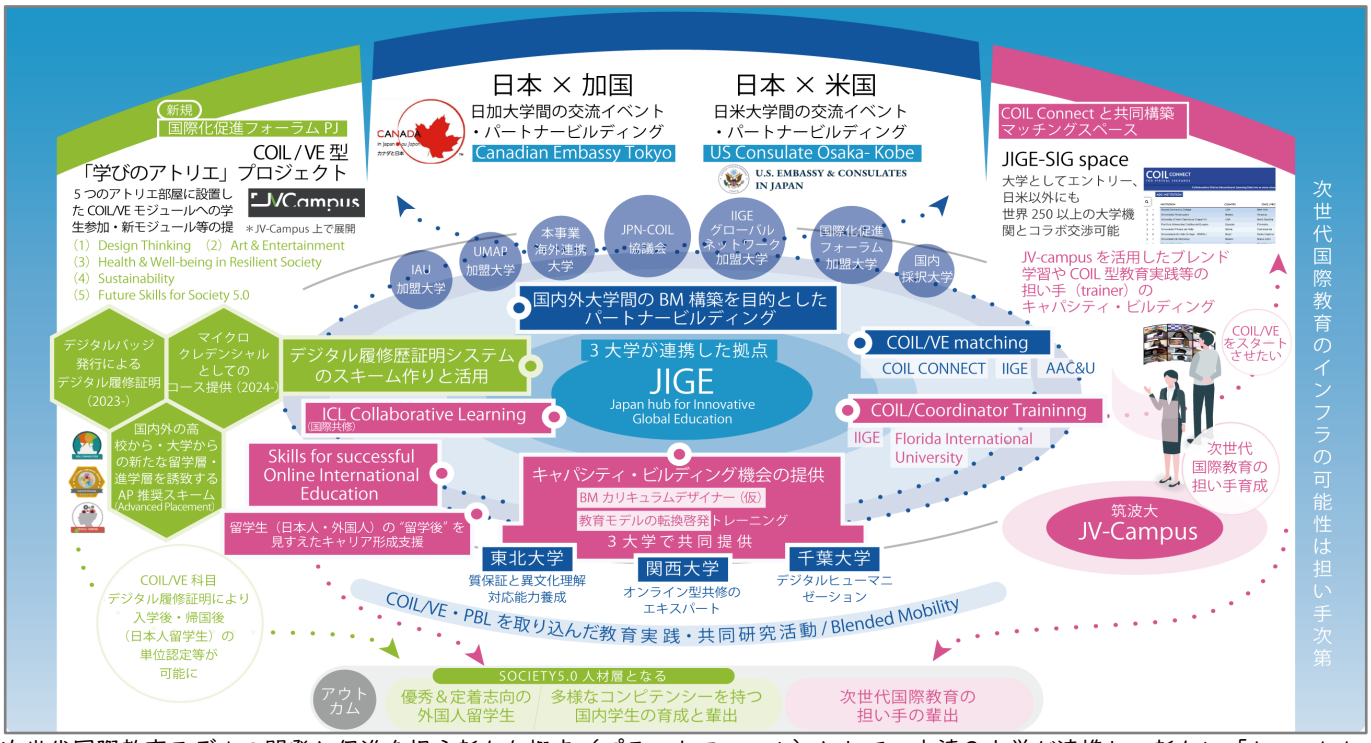
		2023	2024	2025	2026	2027
派遣	実際に渡航する学生	63	183	186	197	200
	自国にて国際教育・交流プログラムをオンラインで受講する学生	474	1416	2208	2619	3207
	実渡航とオンライン受講を行う学生	91	318	401	452	484
受入	実際に渡航する学生	13	52	69	96	119
	自国にて国際教育・交流プログラムをオンラインで受講する学生	363	977	1419	1881	2066
	実渡航とオンライン受講を行う学生	21	77	103	106	109

大学の世界展開力強化事業（2023年度選定） 関西大学・東北大学・千葉大学 取組概要

【事業名称】（選定年度2023年度・（タイプB））

プラットフォーム構築プログラム **Japan hub for Innovative Global Education**

【プラットフォーム構築の概要】



次世代国際教育モデルの開発と促進を担う新たな拠点（プラットフォーム）として、申請３大学が連携し、新たに「Japan hub for Innovative Global Education（JIGE）」を発足させる。この拠点は、交流活動の取組の柱であるBM(Blended Mobility)を有効活用し、ポスト・コロナ禍の国際教育フェーズとして確立することを目的とする。

【具体的な計画内容】

(1)Train-the-Trainer の取組（教育の担い手のキャパシティビルディング）

3 大学は、それぞれ(1)COIL/VE 教育実践等のオンライン型共修のエキスパート（関西大学）、(2)デジタルヒューマニゼーション、デザイン思考を取り込んだ最先端研究・教育（千葉大学）、(3)国際教育における質保証と異文化理解・対応能力養成の専門性（東北大学）といった異なる領域において、本拠点が目指すキャパビルプログラムの構築に貢献することができる

(2)国内大学における米国等と行うCOIL/VE 等オンライン型国際教育の促進と効果検証

|_日米・日加間高等教育機関の国際パートナー・マッチング（年に数回、オンライン開催及び対面開催（@JIGE-Osaka もしくはJIGE-Tokyo 拠点）

|_COIL/VE 型教育科目パートナー・マッチングの場の提供（マッチング・フェアをオンラインで開催、COIL Connect（The COIL Virtual Exchange Foundation, Inc.）等を活用したマッチングサロンの提供と運営を遂行する。

|_展開力強化事業採択大学対象のインパクトリサーチ（2025 年度・2027 年度）

|_国内外のBM 型国際教育の波及状況把握調査(2024 年度から毎年実施)

|_BM プログラム評価手法のGood Practice の共有と発信(2024 年度からJPN-COIL 協議会との連携により年2 回情報発信イベントを開催

(3)多様な国際教育活動を可能とする「デジタル学修歴証明」活用の推進とその活用事例の共有

|_オンライン型国際教育を活用したAP 制度のGood Practice の共有と発信

|_デジタル履修証明の仕組みの構築（デジタルバッジの発行・JV-Campus と連動したインフラの構築）

【本事業の特徴】

☆JV-Campus との連動

JIGE はJV-Campus の運営母体と密なコミュニケーションをとりながら、教育コンテンツを提供するプロバイダーであるJV-Campus と、その担い手である教員養成や教育職員・大学関係者のリスキリング・アップスキリングを提供するJIGE プラットフォーム拠点が有機的に連携し、質が高く、国内外の学習者層にとって魅力のある学びの機会の提供を推進する。

☆国際教育のパラダイムシフト

教育は次世代の流動的かつ急激に多様化・進化する社会で必要な能力を、必要な時に、必要なだけ、学習者自身がカスタマイズし、デジタル技術の助けを借りて効果的に学ぶ「Education 4.0 のフェーズ」へと世界が移行し始めている。産業界が人材のリスキリングを強化しているように、教育界においても担い手のリスキリング・アップスキリングといったキャパシティビルディング（以下「キャパビル」）は急務の課題である。 この背景を踏まえ、プラットフォームとしてのJIGE は、次世代の国際教育の担い手の人材育成、つまりTrain-the-Trainer の取組をその重要なミッションの１つとする。

1. 取組内容の進捗状況（2023年度）　【関西大学 | 東北大学 | 千葉大学】

Blended Mobility Project（BMX）で生み出す「Society5.0人材」の育成とそのインフラの創出

（（採択年度 2023年度）

■ 交流プログラムの実施状況

Blended Mobility Program 2023FY Spring

交流プログラムにおける学生のモビリティ

COIL/VEなどのICTを活用したバーチャルな協働学習と、物理的な留学経験を学生のニーズに合わせて最適な方法で統合

	2023	
	計画	実績
学生の派遣	628	511
学生の受入	397	364

（それぞれ実渡航・オンライン・ハイブリッドの合計）

○ 日本人学生の派遣

フロリダ国際大学（FIU）・スペインのカルデナル・ヘレラ大学および東北・千葉・関西大学の合同でJIGE Blended Mobilityプログラムを実施し、学生の派遣を行った。国内3大学の学生が参加し、本事業の目的に沿った意義のあるプログラムとなった。

○ 外国人留学生の受入

外国人留学生のキャリア形成サポート活動の一環として「Kandai's Got Talent」を開催し、外国人留学生が社会課題解決案のポスターセッションを行った。合計110名の企業代表者や人事担当者が参加し、外国人留学生がよりキャリアを意識した留学体験ができるよう導く取組となった。

■ 質の保証を伴った大学間交流の枠組形成に向けた取組

JIGE アドバイザリーボードの開催

2024年1月にJIGEキックオフ・シンポジウム、2月末にはワシントンD.C.の日本大使館でアドバイザリーボード・フォーラムを開催した。これらは、米国のパートナー機関との連携強化を目的としており、前者には100名以上、後者には30名以上が参加した。BMを取り入れたプログラム開発、国際教育の質の保証、マイクロクレデンシャルの活用について意見交換が行われた。

■ 外国人学生の受入及び日本人学生の派遣のための環境整備

Blended Mobility Programs の実施

様々なモビリティを提供するJIGEの取り組みにおいて、Blended Mobility Project (BMX)は大きな役割を持つ。BMプログラムはバーチャルモビリティ（オンライン共修）と物理的モビリティ（現地派遣）を融合した新たなプログラムであり、2024年2月末から3月中旬にかけ3つのプログラムを実施し、スペイン(Universitat Rovira i Virgili)・ハワイ(University of Hawai'I at Hilo)・マレーシア(Universiti Kebangsaan Malaysia) の三箇所へ約10日間にわたって学生の派遣を行なった。

　また渡航前には、それぞれのプログラムテーマに沿った内容のオンライン事前研修（COIL: Collaborative Online International Learning）を数回実施し、派遣先大学の教員や学生との交流・共修を行なった。渡航後の現地研修では事前に学んだ内容をもとにオンラインであらかじめ見知ったピアとの学習活動をblended learning形式で実施した。

■ 事業の実施に伴う大学の国際化の状況、情報の公開、成果の普及

ウェブサイト及びプロモーションビデオ（日・英）の公開

JIGE ウェブサイト: https://www.kansai-u.ac.jp/Kokusai/JIGE/en/

JIGEプロモーションビデオ（JPN）https://youtu.be/OQ5ddgTFAjc　**(ENG)**https://youtu.be/NcAYukVD2lQ

■グッドプラクティス等

- **JV-campus と Campus Community を使ってアメリカ・日本の両機関で双方向のコミュニケーションを図っている。**
- **また、2024年4月より、以下の3つのツール（またはプラットフォーム）の使用を開始し、国際的共修、教育DX、3大学間のコミュニケーションDXを推進している**

①JV-Campus: 渡日前教育と教材集約ゲートウェイ・プラットフォームとして使用を開始。同プラットフォーム上に複数の科目を受講できる“学びのアトリエ”を設置し、Society5.0時代に必要とされる人財育成を進める。

②JIGE Campus Community: JIGE関連大学の教員および学生が使用できるインタラクティブな国際的LMSとして使用を開始。これにより、様々な大学に属する学生の学びを一括管理することが可能になった。

③ovice: JIGEに関わる3大学の教職員がバーチャルオフィスにて直感的にコミュニケーションやディスカッションが可能になるように使用を開始。